

水環境共働ビジョン

地域が支える流域の水循環

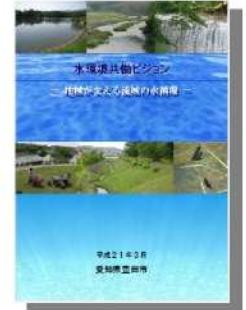
皆さんの周りでも「水」との触れ合いの輪を広めませんか！



「地域の水環境への取り組みが大きな流域の水循環を支える」という考え方のもと、次世代へ良好な水環境を受け継ぐために、「**水環境共働ビジョン～地域が支える流域の水循環～**」を策定しました。

1. ビジョンからの呼びかけ

「人がふれあい 生き物をはぐくむ 豊かで清らかな水辺の継承」



水環境共働ビジョン(表紙)

2. ビジョンが描く将来像と視点

市民の毎日の生活や社会活動を、衛生的かつ安全な環境下で営むとともに、ふれあえる水辺や生物多様性をもたらす良好な水環境を保全・再生します。



3. 共働の「輪」づくり、実践開始

ビジョンの4つの視点

取り組みを進めるにあたり、既に水に関わる活動が活発に行われている地区をモデル地区とし、試行的に以下の取り組みを行いました。(本地新田地区、西中山地区、高橋・上野・東山地区、西広瀬地区)

1. 川を想う座談会	 座談会の様子	2. 川しらべ	 川しらべの様子
3. モデル地区交流会	 交流会の様子	4. 振り返りと展望	 発表の様子

モデル地区① 逢妻女川上流域（本地新田地区）

逢妻女川は、豊田市南西部の田園地帯を流れる二級河川です。上流域は水田の面積が約3割を占め、流域内に多くのため池を有する農業地帯ですが、中心市街地に近いため住宅地が増加し、人口も増え続けています。最近では、下水道整備により水質が徐々に改善していますが、晴天時の河川流量は減少傾向にあり、きれいで豊かな水の流れを回復させていく取り組みが求められています。

逢妻女川上流域のうち、本地新田自治区の協力とともに取り組みました。



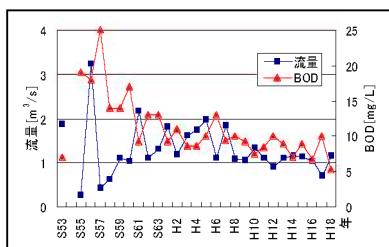
位置図



流域のため池（米田池）の様子



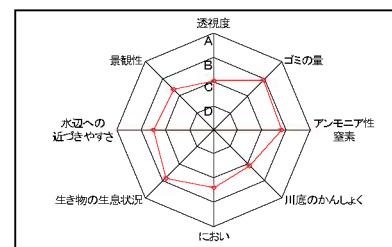
逢妻女川上流域では「逢妻女川クリーン活動」（参加人数3,000人程度）が年1回実施されています



河川の流量・水質



川しらべの様子



川しらべの結果

モデル地区② 御船川流域（西中山地区）

御船川は、藤岡地区南部から猿投地区東部にかけて流れ河川で、流域の面積の半分を森林が占めています。当流域では、昭和50年代以降、藤岡地区での宅地開発が進み、人口が急増したことによって生活排水による水質汚濁が進行しました。特に上流域である西中山地区においては下水道事業に着手したばかりで生活排水処理がスムーズおらず、対策が急務となっています。

御船川の上流域にあたる西中山川流域において、西中山自治区の協力とともに取り組みました。



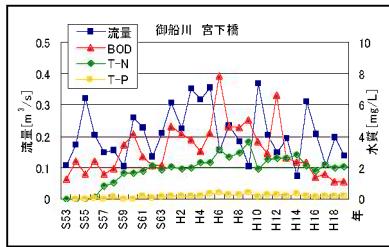
位置図



大池周辺の様子



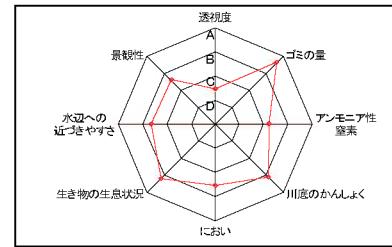
河川浄化活動（水質浄化活動や水質調査）、大池周辺整備・河川愛護活動などを行っています。



河川の流量・水質



川しらべの様子



川しらべの結果

モデル地区③ 加茂川流域（高橋・上野・東山地区）

加茂川は、高橋地区の住宅地を流れています。当流域では昭和50年代以降、宅地化の進展により人口が著しく増加し、河川水質も悪化しましたが、下水道整備とともに水質は大きく改善しました。また、中流部では川に近づきやすい護岸形態となっており、現在は水辺に近づき、ふれあえる河川として地域住民に親しまれています。

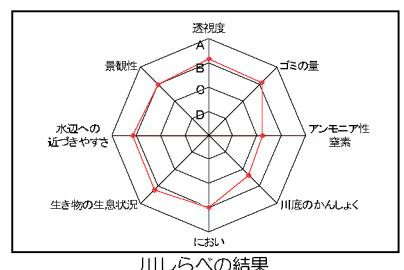
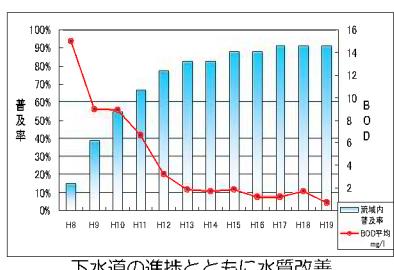
加茂川流域のうち、東山町・上野・高橋自治区周辺において河川愛護活動をしている2団体と協力して取り組みました。



位置図



自治区の環境美化活動や「加茂川を美しくする会」と「加茂川水辺愛護会」による日常的な河川の草刈りなどの維持管理を行っています。



川しらべの様子

川しらべの結果

モデル地区④ 飯野川流域（西広瀬地区）

飯野川は、藤岡地区北西部の山間部から藤岡支所脇を流れ、西広瀬町で矢作川に注ぎます。流域面積の約8割を森林が占めるため、水量も豊富で、水質も非常に良好です。しかし、昭和60年代以降、上流域の藤岡地区で宅地開発が進み人口が増加しており、下流域の住民からは水質の変化を指摘する声が上がっています。

下流部の西広瀬自治区をモデル地区とし、当地区を拠点に活動している水辺愛護団体とともに取り組みました。

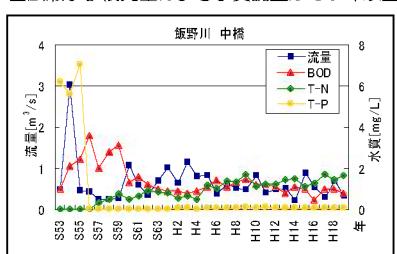


位置図



西広瀬小学校児童による水質調査が30年以上毎日行われて、地域住民もサポートしています。

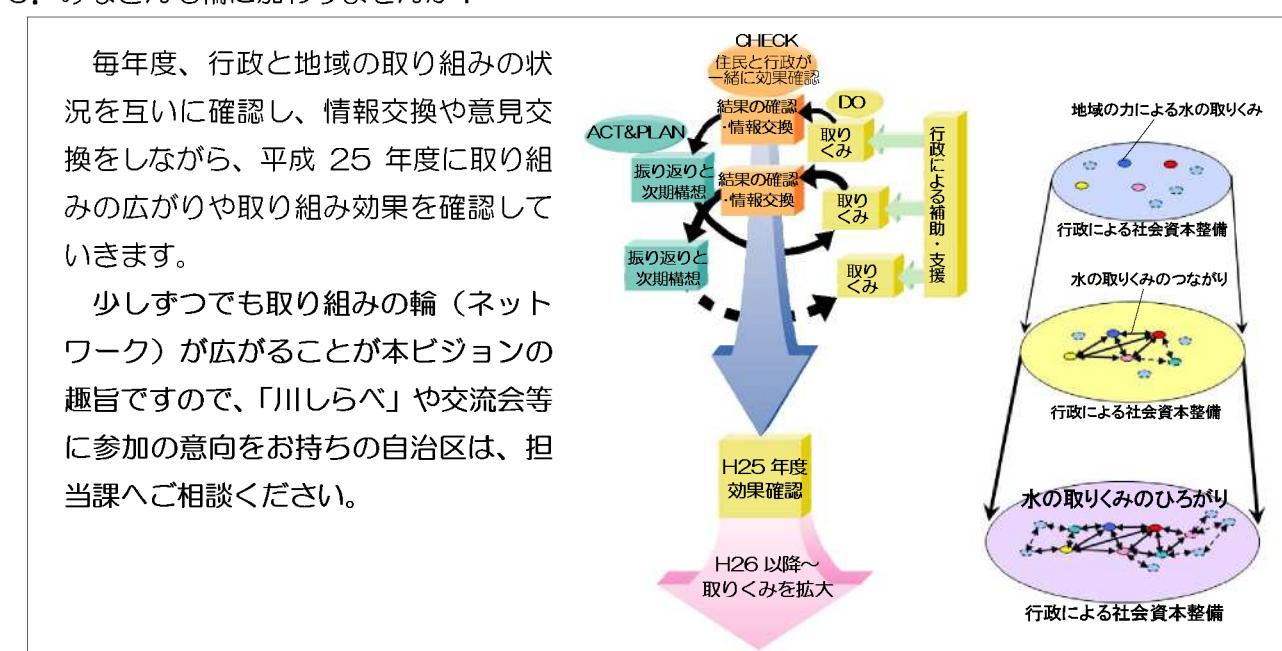
愛護会による草刈活動の様子。



4. 活動の記憶をこれからの方に

逢妻女川流域（本地新田地区）							御船川流域（西中山地区）																																		
時期	平成20年 春（4~6月）			夏（7~9月）			秋（10~12月）			平成21年 冬（1~3月）			時期	平成20年 春（4~6月）			夏（7~9月）			秋（10~12月）			平成21年 冬（1~3月）																		
取り組み	4月 米田池の水質調査 5月 米田池の水質調査 6月 米田池の水質調査 7月 米田池の水質調査 8月 米田池の水質調査 9月 米田池の水質調査 10月 米田池の水質調査 11月 米田池の水質調査 12月 又 游泳			7月 水質調査 8月 水質調査 9月 水質調査 10月 水質調査 11月 水質調査 12月 水質調査			8月 土曜日 9月 土曜日 10月 土曜日 11月 土曜日 12月 土曜日			9月 水質調査 10月 水質調査 11月 水質調査 12月 水質調査			取り組み	6月 6月 7月 7月 8月 8月 9月 9月 10月 10月 11月 11月 12月 12月			7月 水質調査 8月 水質調査 9月 水質調査 10月 水質調査 11月 水質調査 12月 水質調査			8月 水質調査 9月 水質調査 10月 水質調査 11月 水質調査 12月 水質調査			11月 大会開催 12月 大会開催																		
市の取り組み	水質調査			水質調査			水質調査			水質調査			市の取り組み	水質調査			水質調査			水質調査			水質調査																		
課題	子供たちに親水活動を広げてもらいたい			児童フリー活動の参加を増やしてほしい			晴れた後の凧揚げ			晴れた後の凧揚げ			課題	大池から水質でつながりはない			事例は複数あります			田舎町は早くして親水活動に取り組んでいます			今年度も親水活動を次年度も継続し、参加者を増やすよう意識づけをしていく。																		
展望	米田池の水質調査しないといけない。子供と一緒にいる			雨水の水質調査			雨水の水質調査			雨水の水質調査			展望	西中山の水質調査			西中山の水質調査			西中山の水質調査			西中山の水質調査																		
今後の展望：「米田池の水質調査など、子どもを巻き込んだ活動を増やす」														今後の展望：「今年度の取り組みを次年度も継続し、参加者を増やすよう意識づけしていく」																											
加茂川流域（高橋・上野・東山地区）							飯野川流域（西広瀬地区）							飯野川流域（西広瀬地区）							飯野川流域（西広瀬地区）																				
時期	平成20年 春（4~6月）			夏（7~9月）			秋（10~12月）			平成21年 冬（1~3月）			時期	平成20年 春（4~6月）			夏（7~9月）			秋（10~12月）			平成21年 冬（1~3月）																		
取り組み	毎月毎月の水質調査 5月 水質調査 6月 水質調査 7月 水質調査 8月 水質調査 9月 水質調査 10月 水質調査 11月 水質調査 12月 水質調査			7月 水質調査 8月 水質調査 9月 水質調査 10月 水質調査 11月 水質調査 12月 水質調査			10月 水質調査 11月 水質調査 12月 水質調査			1月 水質調査 2月 水質調査 3月 水質調査 4月 水質調査 5月 水質調査 6月 水質調査 7月 水質調査 8月 水質調査 9月 水質調査 10月 水質調査 11月 水質調査 12月 水質調査			取り組み	毎月毎月の水質調査 7月 水質調査 8月 水質調査 9月 水質調査 10月 水質調査 11月 水質調査 12月 水質調査			7月 水質調査 8月 水質調査 9月 水質調査 10月 水質調査 11月 水質調査 12月 水質調査			7月 水質調査 8月 水質調査 9月 水質調査 10月 水質調査 11月 水質調査 12月 水質調査			10月 水質調査 11月 水質調査 12月 水質調査																		
市の取り組み	水質調査			水質調査			水質調査			水質調査			市の取り組み	水質調査			水質調査			水質調査			水質調査																		
課題	若狭川 墓内アドバイス 内水の水質調査 水辺の起業地（地図）			生垣 排水			ゴミ拾い 草刈り			注意書き 手洗い			子供が見 出される 自分たち でもできる			下水がさがる 見えるくなると思 う。			今年度も親水活動を次年度も継続し、参加者を増やせるよう意識づけをしていく。			今後の展望：「現在の活動を通じて、子供達（や若い人達）が水に触れあう機会を増やしていく」																			
展望	今後の展望：「月々の草刈りやごみ拾いを継続しながら生き物や親水性に良い刈り方を取り入れる」														今後の展望：「現在の活動を通じて、子供達（や若い人達）が水に触れあう機会を増やしていく」																										

5. みなさんが輪に加わりませんか！



編集・発行 / 豊田市上下水道局下水道建設課
(平成21年3月) TEL: 0565-34-6624 FAX: 0565-32-3171
e-mail : g_kensetu@city.toyota.aichi.jp

